

キャンディポット

【警告】

＜使用方法＞

- 吸引物をポンプ側に吸い込んだ場合は、配管内に溜まる危険があるため、必ず製造販売元または医療機器修理業者による点検を受けること〔故障の原因となる〕
- 本製品を、生命維持や気道確保の唯一の手段として使用しないこと。
- 止水フィルターは吸引が低下したと感じたら、早めに交換すること。(霧状になった吸引物が付着するため、徐々に目詰まりを起こす)万一吸引物を吸い込んでしまった場合には、1 回で目詰まりを起こし、吸引できなくなってしまう場合がある。

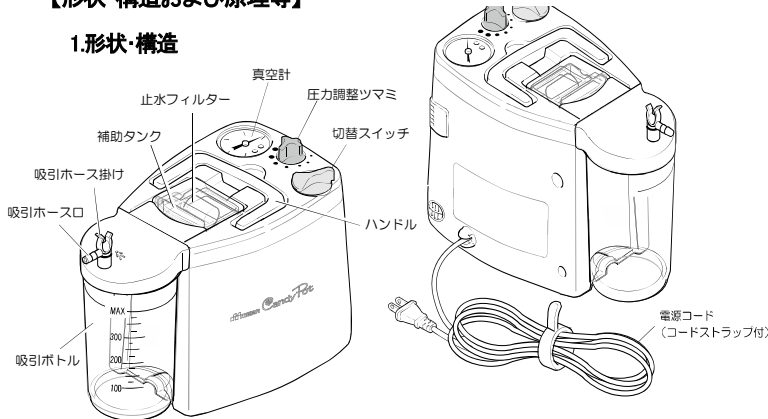
【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- 止水フィルターにアルコール等の溶剤や消毒液を流さないこと。〔液体が通過し本体内部が破損するおそれがある〕
- 本体各部に注油しないこと。〔発火するおそれがある〕

【形状・構造および原理等】

1.形状・構造



・付属品

吸引ホース(ホース径: $\phi 7 \times \phi 11$)、チューブコネクタ、止水フィルター

【本製品は EMD 規格 JIS T 0601-1-2:2023 に適合しています】

但し、他の医療機器、電子機器との併用において、相互に影響を生じる場合があります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

2.原理

本器は電磁ポンプ、真空計、圧力調整ツマミ、吸引ボトル、フロート、補助タンク、吸引ホースで構成している。ポンプが作動するとダイヤフラムが往復(左右)し、吸気・排気を繰り返す。

・吸気経路が吸引ボトルと吸引ホースにより連結されて、吸引ホース先端に接続された吸引カテーテル(別売品)より吸引物が吸引され、吸引ボトルに溜まる。

・圧力調整ツマミを回すことにより圧力調整ツマミの軸であるバルブの大気開放口から大気が導入され、吸引圧力を調整することが出来る。吸引圧力は真空計に表示される。

3.機器の分類・電気的定格

AC100V, (50-60Hz)	
標準: 11VA(50Hz), 8VA(60Hz), 強: 28VA(50Hz), 26VA(60Hz)	
電撃に対する保護の形式	クラス II
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	B 形装着部
水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IPX0

4.寸法・質量

本体寸法	幅 227 × 奥 127 × 高 206(mm)
質量	約 2.0kg

【使用目的又は効果】

本器は医療施設、在宅等で唾液などの液体又は粒状物質の吸引に使用する。

【使用方法等】

詳細については、取扱説明書の「吸引する」を参照してください。

1.準備

1. 本器を水平な安定した場所に置きます。
2. 吸引ボトル、補助タンクが漏れのないように取付けられていることを確認します。
3. 電源コードのコードストラップを外してから電源プラグをコンセントに差し込みます。
4. 吸引ホース口に吸引ホースを取付けます。
5. 切替スイッチを[標準]または[強]に合わせます。※[強]はより高い圧力が必要な場合に使用します。
6. 吸引ホースを折り曲げ圧力調整ツマミを回し、必要な吸引圧力(医師の処方した圧力)に調整します。その後、一度切替スイッチを[切]にします。
7. 吸引ホース口に吸引カテーテル(別売品)を接続します。吸引カテーテルは使用用途に合ったものをご使用ください。

2.吸引する

1. 切替スイッチを[標準]または[強]に合わせます。
2. 吸引ホースに接続した吸引カテーテルの先端を処置部に挿入します。
○吸引ボトルが一杯になると、フロートが働き患者への吸引を停止します。

3.使用後の取扱い

1. 吸引が終了したら、ホースの目詰まりを防ぐために、精製水等を吸引し洗浄を行います。
2. 切替スイッチを[切]にし、吸引ホース口から吸引ホースを取外します。
3. コンセントから電源プラグを抜きます。
4. 吸引ボトルを本体から取外し、吸引物を捨てます。

4.洗浄・消毒について

【保守・点検に係る事項】＜洗浄・消毒について＞を参照してください。

5.本体の清掃

水で湿らせた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布等できれいに拭き取ってください。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 使用前に必ず取扱説明書および電子添文を読み、よく理解してから使用すること。
- 医師または医師の指示のもと、喀痰吸引手技を習得したうえで使用すること。
- 振動や衝撃を与えず水平な安定した場所で使用すること。
- 吸引ホースが折れ曲がらないように注意すること。
- 濡れた手で電源コードや電源プラグを触らないこと。感電によるケガをするおそれがある。
- 吸引ホース、吸引ボトルユニットは洗浄後、消毒をすること。
- 本器を使用目的以外の目的(採血用など)では絶対に使用しないこと。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源の電圧、周波数および許容電流値に注意すること。
- 本器に吸引圧力が残ったまま(真空計の針が 0 に戻っていない状態)、本器を作動させないこと。〔作動しなくなるおそれがある〕
- 吸引物は早めに捨てること。
- 患者より本体の位置を上にししないこと。
- 洗浄時に本体に水をかけないこと
- 本器は周囲温度 10～40℃、相対湿度 30～75%の環境で使用すること。
- 長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。
- 長時間使用しなかった場合は、点検に出すなど、作動上の安全を確認してから使用すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

<不具合・有害事象>

- 1) 重大な不具合
吸引異常(吸引不能・過吸引)
- 2) その他の不具合
接続部からの気密漏れ
- 3) その他の有害事象
感染

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- 周囲温度-10～60℃、相対湿度 10～75%の環境で保管してください。
- 水のかからない場所に保管してください。
- 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管してください。
- 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

<耐用期間>

本器の耐用期間は、購入後5年です(当社データによる自己認証)。ただし、推奨された環境で使用され、次の「保守・点検に係る事項」を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。

<廃棄について>

本器(構成品を含む)を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。環境汚染の原因となることがあります。

【保守・点検に係る事項】

<洗浄・消毒について>

詳細については、取扱説明書の「洗浄・消毒について」を参照してください。
高圧蒸気滅菌はできません。各材質に合った消毒剤を用いて、浸漬消毒を行ってください。(消毒剤の添付文書に記載されている濃度を守ってください。)

<使用者による保守・点検>

点検項目(日常点検)

- 1) 吸引ボトルユニットにキズ・ひび割れがないか確認してください。
- 2) 補助タンクにキズ・ひび割れがないか確認してください。
- 3) AC 電源コードのプラグに変形がないこと、被覆が破けていないことを確認してください。
- 4) 切替スイッチの[標準/切]、[強/切]を行い、正常に動作することを確認してください。
- 5) 切替スイッチを[標準]にして、本器を作動させ、指で吸引ホースを折り曲げて圧力調整ツマミを回し、真空計の指針がスムーズに変動することを確認してください。確認が出来たら、運転スイッチを[強]にして同様に真空計の指針がスムーズに変動することを確認してください。

点検頻度: 使用前に点検

点検項目(保守点検)

点検の項目については、取扱説明書の「保守・点検について」のチェックリストを参照してください。

点検頻度: 3ヵ月に一度

点検により異常が発見された場合には、お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者に点検・修理を依頼してください。

<業者による保守・点検>

点検項目(定期点検)

ゴム製部品などの消耗部品の交換のほか、機能・性能点検を行います。また、必要に応じて消耗部品以外の劣化の進んでいる部品の交換を行います。

吸引器は長時間の使用中にミスト状の吸引物等がポンプ内および配管に浸入します。そのため、吸引能力が次第に初期値に比べて低下しますので、必ず定期点検を受けてください。(有料となります。点検周期については当社推奨)

点検頻度: 2年に一度

製造販売元または医療機器修理業者による定期点検を実施してください。

消耗部品の交換について

パッキン、Oリング、ホース類は消耗部品です。破損、ヒビ、変形等が見られる場合には速やかに当社純正部品に交換してください。交換部品については販売店へご連絡ください。

また、パッキン等のゴム製部品およびプラスチック製部品は経年劣化しますので、定期点検を必ず受けてください。

修理について

お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者で行ってください。

～お願い～

本器を修理として戻される場合には、消毒を行った後にお戻しください。なお、感染症等の恐れがある場合にはお受け取りできませんので、あらかじめご了承ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元: 株式会社 Sanko Medical

埼玉県さいたま市西区中釘 652 番地 048-624-8121

発売元: 泉工医科工業株式会社

東京都文京区本郷 3 丁目 23 番 13 号

お問い合わせ先: 泉工医科工業株式会社 商品企画本部

TEL: 03-4283-1005

URL: <https://www.mera.co.jp/>